



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校

特別号

第4回体育祭 特別号(中高合同)

楠隼は、雨が降っても、今日も元気です！

今回は体育祭特別号として、第4回体育祭の模様を中高合同記事でお届けします。

曇天のもと、9月8日(土)10時から、第4回体育祭を挙行了しました。今年は生徒数が中学生170名、高校生97名、合計267名となりました。中高混成の赤組・白組に分け、郷中教育を取り入れた楠隼らしい体育祭のスタートです。

今回の体育祭の目玉は、これまでの競技の部に加え、応援の部を設けたことです。赤白ともに、中学1年生から高校3年生まで、異年齢の代表が選出され、8月後半から自主的に練習してきました。当日も応援団を中心とした全校生徒による応援や、観戦マナーまで指揮を執ってくれました。

雨天時プログラムを余儀なくされましたが、生徒たちは若さと男らしさを、思いっきり表現してくれました。肝付の歴史にちなんだ中学1年生による「薬丸野太刀自顕流演舞」は、楠隼体育祭の顔となっていました。今年も勇ましく立派な演技がなされ、観客からは大きな拍手が送られました。昨年からはまった「高校3年生演技」は、衣装を揃え息の合った豊かな表現をしてくれました。各種「リレー」は、色とりどりのゼッケンを付けてグラウンドを疾走し



大綱引き



応援合戦 (白組)

ました。観客からは「生徒が増えて賑やかになったなあ…」と感慨深げに感想を言われる声がありました。最終競技の大綱引きでは、フィールド内に全校生徒が入り、皆で力一杯綱を引きました。観客の声援、生徒の雄叫びなど、楠隼グラウンドが最も盛り上がった瞬間でした。大空も興奮したのか、15分間の激しい雨の後、「応援合戦」が始まりました。気合いと迫力、同調性、見事な演技に観客は魅せられました。



応援合戦 (紅組)



校歌斉唱



選手宣誓



薬丸野太刀自顕流演舞



高校3年生演技



中学生学級対抗リレー

競技・応援の部とも白組が優勝しましたが、閉会行事の校歌斉唱では、全校生徒が自然に肩を組んで腹の底から歌い、全てを表現できた達成感をかち合いました。第4回体育祭が新たな伝統を紡いだ一瞬で、会場にいた全員が心を打たれました。



楠隼チェスト